

さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館- 開館25周年記念  
寛方生誕140年記念

KAMIPPO  
ARAI

# 荒井寛方展

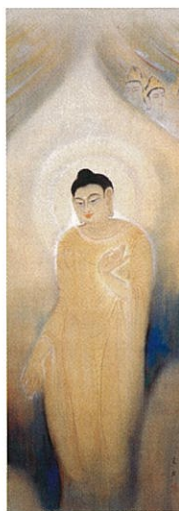
## ～描かれたモチーフの謎～

2018年5月12日(土)～6月24日(日)



弁財天(1919)

さくら市出身の荒井寛方(1878-1945)の生誕140年を記念して、長年当館が収蔵してきた寛方の名品を紹介します。寛方は21歳で上京し、1914(大正3)年に横山大観らが中心となって再興した日本美術院に参加し、日本画の伝統と革新の道を模索します。1916(大正5)年にはインドへ渡り、アジャンター壁画の模写、インドの画家との交流など日印文化の架け橋ともなりました。晩年は法隆寺金堂壁画の修復模写に従事することで、独特な線描で仏画を描くようになり、優麗で崇高な雰囲気漂う仏画は、見る人々を祈りの世界へと誘いました。「仏画の大家」として有名ですが、仏画以外にも多くのモチーフで作品を生みだしています。寛方は何に感動して描いたのか、この作品は何を言いたいのかなど、このたびの展覧会は、寛方が描いたモチーフに注目し、その謎を解くように作品の魅力を紹介します。



二十五菩薩来迎回(1921)



薫風(1919)



暮れゆく秋(1914)



仏誕(1934)



鬼子母(1936)



孔雀明王(1926)



魚藍観音(1940)

なぜ孔雀に乗っているの？

どうして魚を持っているの？

### 会期中の行事

#### 記念講演会

「モチーフの謎  
～近代絵画と主題～」

日時：5月27日(日)  
午後2時～

講師：小泉晋弥氏(茨城大学教授)

場所：ミュージアム内講座室

参加費：無料 先着80名



#### 寛方謎解きツアー

モチーフの謎に迫る作品解説!

日時：5月19日(土)、6月2日(土)  
いずれも午後2時～3時

参加費：予約不要  
観覧料でご参加ください

見て、聴いて、触って、  
チェンパロで甦る古楽の世界  
横山博チェンパロコンサート

日時：6月10日(日)  
午後2時～3時30分  
ただし、3時からはチェンパロ体験  
(体験は要予約5名 5/12(土)～電話受付)  
参加費：観覧料でお聴きください。  
コンサートの予約は不要です。



#### 映画上映『天心』

現在、日本を代表する日本画の団体日本美術院。この「院展」の創設者岡倉天心のドラマに満ちた生涯を映画化。竹中直人の天心、中村獅童の横山大観も見ごたえあり!

日時：6月16日(土)午後1時30分～3時30分

場所：ミュージアム内講座室

参加費：無料 申し込み制 先着80名  
(ミュージアムへお電話でお申し込みください)  
(5/12(土)9時～受付開始)

交通のご案内  
●自動車をご利用の場合  
東北自動車道宇都宮インターチェンジより車で30分。  
同、矢板インターチェンジより車で20分。  
●公共交通機関の場合  
JR宇都宮駅から東北本線(宇都宮線)にて3駅目、JR氏家駅下車。  
JR氏家駅からタクシー乗車(約5分)。

#### ご案内図



さくら市ミュージアム  
- 荒井寛方記念館 -  
勝山城跡 勝山公園